

# 「熟議特集」

北海道教育庁石狩教育局社会教育指導班 令和6年(2024年)3月発行

## 1 本リーフレットについて

石狩教育局社会教育指導班では、令和6年度石狩管内教育推進の重点3に示している「地域と歩む持続可能な教育体制の実現」の達成を目指し、管内のコミュニティ・スクールに関わる情報をお伝えする「石狩管内コミュニティ・スクール促進リーフレット『熟議特集』」を発行します。各学校においては、地域との連携・協働の一層の推進に向けて、本リーフレットを積極的に活用してください。

令和6年度石狩管内教育推進の重点3を達成する取組として、「学校と地域による『熟議』の活性化」を掲げています。学校と地域が、目指す子ども像を共有し、それぞれの立場からできることを考え実行するためには、学校運営協議会における熟議が欠かせません。本リーフレットでは、熟議を実施する上でのポイントを分かりやすく示しているので、熟議をする際の参考にしてください。

## 2 コミュニティ・スクールにおける「熟議」

### 熟議とは…



よりよい集団生活や人間関係を築くために、「協働して取り組む一連の自主的、実践的な活動」を「話し合い」を重ねながら生み出そうとするものです。

コミュニティ・スクールにおける熟議では、参加者がそれぞれの立場から積極的に発言することがポイントです。また、参加者全員が必ず発言することで、自分の立場からできることは何かを考える「当事者意識」につながります。

(出典「コミュニティ・スクールの作り方」文部科学省)

### 熟議の Point

## 全員が当事者意識をもって参加する

(例) 熟議のテーマ「学校の困りごとを解決する」

### BADな事例

「学校の課題」という認識が強化され、学校だけが解決を図る。

家庭や地域はアイデアを出すだけ。



「意見は出すけど、あとは学校がやればいい」

学校の負担感が増す

### GOODな事例

「学校の課題」を明確にし、それができることを検討する。

学校の課題を学校だけの課題として捉えるのではなく、「地域の課題」として捉える。



「自分の立場から学校に協力できることは何だろう」

困りごとを共有し、それぞれの立場から、課題解決のために連携を図る。

※学校運営協議会での熟議を計画的、継続的に設定することで、委員の当事者意識を高めることにつながります。

### 3 熟議の具体例

次のように①何のために取り組むのかを共有すること、②自分事としての意識することが熟議を深め、学校と地域の協働を推進していきます。学校に関わる様々な立場の関係者が集まり、学校や地域の課題を共有し、自分には何ができるかを具体的に考えます。

今年度、学校では〇〇に取り組み、△△の成果がありました。一方□□の面では課題もあります。この部分に関しては、**①地域の方と連携する活動が課題解決につながると考えます。ぜひ、お力を借りたいと考えております。**



校長

学校の現状がよく分かりました。課題となる□□の面を充実させるには、◆◆さんに相談するといいかもしい。②私から電話してみましよう。



学校運営協議会委員

今年度の△△を継続させることは、地域にとっても大切なことだと思います。次年度は町内会と協力した取組にはいかかでしょうか。②町内会の青年部に知り合いがいるので連絡してみます。



学校運営協議会委員

#### 具体例のPoint

- 学校は、課題や改善したいことなどを学校運営協議会委員を通して地域に相談する。
- 地域は、自分たちができることを考える。または、地域にできることを学校に提案する。

### 4 管内での取組

#### 北広島市教育委員会主催事業「CS座談会」での熟議体験



趣 旨：コミュニティ・スクールについての理解促進  
内 容：講 演「コミュニティ・スクールの可能性」  
熟議体験「学校の困りごとを解決する」  
参加者：教員、学校運営協議会委員

##### 学校の課題

「子どもの安全のために、プール学習の際に、地域の方に見守りをお願いできないでしょうか。」



##### 地域からの提案

「ボランティアで来てくれる人がいるか声をかけてみます。また、水泳の指導員を派遣してもらえるか、関係者に聞いてみましょう。」

#### 恵庭市教育委員会主催事業「コミスクかふえ！」での熟議



趣 旨：コミュニティ・スクール運営についての意見交流  
内 容：コミュニティ・スクールの活動報告  
熟議「これからのコミュニティ・スクールについて」  
参加者：教員、学校運営協議会委員、恵庭市民

##### 学校の課題

「コミュニティ・スクールの運営について、今後も地域の協力を継続してほしい。」



##### 熟議による課題解決の方策

「地域住民の高齢化が進んでいるので、今後も協力できる事業を学校運営協議会で見直してみよう。」

お問合せ

北海道教育庁石狩教育局社会教育指導班（佐々木・佐藤）  
TEL 011-204-5879  
E-mail:satou.takeshi6@pref.hokkaido.lg.jp

ISHIKARI  
District Office of Education  
北海道教育庁石狩教育局